

ごあいさつ

日頃より皆さまにおかれましては、北陸労働金庫の発展のために格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2016年度の国内経済は、日銀の大規模な金融緩和と政府による財政出動のもとで、緩やかな回復基調にあり、私たち労働者を取り巻く環境も、雇用環境の着実な改善により持ち直しているものの、社会保障費の負担増等による可処分所得の伸び悩み等を背景にその改善が実感できない状況となりました。



北陸労働金庫として、第5期中期計画の最終年度にあたる2016年度は、前年度に引き続き、「ガバナンスを重視した経営管理」と「価値づくり」活動による金庫改革を事業戦略の基本として据えるとともに、堅固なる収益基盤の確立、未来に向けたインフラの整備、ろうきんらしい金融サービスの提供、連帯と協働、信頼される人財育成・人事制度の再構築、内部管理態勢の強化という課題を掲げ、取り組んでまいりました。このうち、堅固なる収益基盤の確立については、昨年度に引き続き、会員・推進機構と協働して「暮らしステップアップ運動」を展開し、給与振込や年金指定口座の獲得、積立型預金の拡大に努めました。また、創立15周年を冠したキャンペーンを年間を通して展開し、利用拡大に繋げてきました。

2017年度は、これまで以上に経営環境が厳しくなると予想されるなか、今後も安定した事業運営を行っていくため、継続した業容の拡大、徹底した経費削減による収益確保、将来を展望した金庫改革に努めてまいります。そのためにも、第6期中期計画および2017年度事業計画においては、会員・推進機構や労働者福祉事業団体との連携を一層強化し、労働者自主福祉運動に協働して取り組んでまいります。また、多様化するお客様ニーズに対して、他の金融機関にはない「ろうきんらしい商品・サービス」を提供し、預金・融資の拡大を図ってまいります。さらに、人財育成や事務の効率化・集中化、店舗のあり方等の見直しにも取り組み、働く人々が安心してご利用いただけるよう各課題に役職員一同、全力で取り組んでまいります。

皆さま方には、今後ともご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2017年 7月

理事長 **森本 富志雄**

□ 当金庫の概況

名 称：北陸労働金庫
所 在 地：石川県金沢市芳斉2-15-18
設 立：1954年5月1日
(2001年10月1日合併し、北陸労働金庫発足)
常勤役員数：514人
店 舗 数：31店舗(富山10、石川12、福井9)
事 業 内 容：労働金庫法に基づく預金、融資、為替、
国債・投信販売など金融業務全般
出 資 金：40億35百万円
団 体 会 員 数：1,858会員
間 接 構 成 員 数：361,967人
預 金 残 高：7,343億3百万円
貸 出 金 残 高：4,016億66百万円
自 己 資 本 比 率：単体10.35% 連結10.38%
関 連 子 会 社：(株)北陸労働金庫サービス

2017年3月末現在

□ 全国ろうきんの概況

金 庫 数：13金庫
店 舗 数：633店舗
常勤役員数：10,693人
会 員 数：132,338会員
(うち団体会員数52,544会員)
間接構成員数：10,665,735人
出 資 金：955億円
預 金 残 高：19兆2,456億円
貸 出 金 残 高：12兆2,248億円

2017年3月末現在